



日本離床学会  
教育講座  
講座コード R-189

その場凌ぎの介入はNG!



# 達人に学ぶ動作介助・ 体位管理の勘ドコロ

～ 5年10年先を考えたポジショニング・  
シーティング・ノーリフティングの実際～

日時：2024年

9月4日(水) 19:00～21:00

会場：インターネット生ライブ中継

見逃し受講期間 2週間有り

講師：香川 寛 先生 (リハケアリングネットワーク)

対象：看護師・PT・OT・ST (左記以外でも受講可)

※事前登録制：  
定員になり次第締切り

受講料：会員 5,400円 一般 6,400円 (税込)

新入会 会費無料



急性期のリハ・ケアがその後の寝たきりを作っている!

? かならずしもこうならないために今から始めるべきこととは...? ?

急性期のポジショニングや離床時の姿勢が悪いと、肺炎や褥瘡・拘縮の原因に・・・実はそれだけではなく、急性期の不用意なケア・離床が、生活期以降にとんでもない悪影響を与え、寝たきりを作っているリスクがあるのです。この講座では、生活期・終末期リハ・ケアのトップランナーである香川先生が「急性期でもっとここにアプローチして欲しい」「これはやらないで置いて欲しい」というケア・リハビリを徹底解説。長期的な回復を見据えたプロのポジショニング・シーティング・ノーリフティングの実践を習得します。



こんなあなたには適応あり →

- ・毎日実施しても腰痛を起こさない介助法が知りたい!
- ・拘縮を作らないポジショニングを知りたい!
- ・その人に合った良い姿勢で離床してもらいたい!

## Program

机上の空論ではない! 「最期まで生き生き」を実現するためにあみ出した3本の矢



- これが真のノーリフティング 腰を守って患者さんも楽に移乗できる Win-Win 介助
- 隙間を埋めるは間違い!? 支える優先順位で作る正しいポジショニング
- 講師お勧めベストな配分はこれ!  
ADL全介助の患者さんの背臥位・座位・側臥位の時間割合をどうすべきか
- シーティングは臥位から始まっている! 臥位と座位をリンクして実践する技
- その介入が予後を悪化させている!?  
片麻痺での片手・片脚駆動の弊害と代替策



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論0.5単位を取得できます。

## 受講方法

ホームページよりオンライン登録

## お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F  
ホームページ <https://www.rishou.org/>  
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683  
Eメール [jsea@rishou.org](mailto:jsea@rishou.org)

日本離床学会

検索

